

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	有害鳥獣対策事業	事業コード	1948
担当課等	所属名	玉山総合事務所 産業振興課	担当係名
	課長名	玉山総合事務所 産業振興課	担当者名 坂本勝彦
		電話番号	251

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 3目 有害鳥獣対策事業(024-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	カラス、カモ、キジバト、ノウサギ、ノイヌ、ツキノワグマによる農作物、造林地、人畜の被害を防ぐため、捕獲・駆除を実施するものである。					
根拠法令等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
農作物及び人身に対する被害を防止し、農作物の生産及び農山村地域住民や一般市民の生活・民生の安定を図ることを目的とし、継続して実施しているもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
会及び農業委員との農政懇談会で迅速、適切な駆除についての意見が出されているほか、農畜産業を営む市民からも、鳥獣による被害防止について、迅速な対応が求められる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化したか。今後の見通しはどうか						
市民からの鳥獣等被害に対する対処要望は減少しない状況にある。また、対応していただいている猟友会においては、駆除隊員の人員減少や高齢化といった実情がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	農作物を作付けしている農地	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 作物を作付けした水田面積 B. 普通畑の面積 C. 飼料畑の面積	単位	ha
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・市民に対し、防災無線広報により、ツキノワグマに関する注意を喚起した。 ・有害鳥獣の発生情報を把握した。 ・必要に応じ、関係機関と調整を図りながら有害鳥獣の駆除、捕獲等を行い、人と動物が共存できる環境を形成した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 関係機関と調整を図りながら有害鳥獣の駆除、捕獲等を行い、人と動物が共存できる環境を形成する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. ツキノワグマの捕獲数	単位	頭
				B. 鳥類等の捕獲数	単位	羽
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	有害鳥獣による農作物被害の軽減、防止及び人身被害を未然に防止する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. ツキノワグマ被害件数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B. 鳥類等の被害件数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位: 人) 農業純生産額(単位: 百万円) 林業純生産額(単位: 百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	作物を作付けした水田面積	ha	1200	1200	1200	1200	1200	1200	24年度 1200
対象 指標B	普通畑の面積	ha	418	418	418	418	418	418	24年度 418
対象 指標C	飼料畑の面積	ha	507	507	507	507	418	418	24年度 507
活動 指標A	ツキノワグマの捕獲数	頭	1	3	2	4	2	2	24年度 2
活動 指標B	鳥類等の捕獲数	羽	300	300	300	300	300	300	24年度 300
活動 指標C									年度
成果 指標A	ツキノワグマ被害件数	件	10	8	3	11	3	3	24年度 3
成果 指標B	鳥類等の被害件数	件	20	10	10	10	10	10	24年度 10
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	432	442	442	442	487	487	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	432	442	442	442	487	487	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	432	442	442	442	487	487	*****
	延べ業務時間数	時間	400	400	400	400	400	400	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,032	2,042	2,042	2,042	2,087	2,087	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 有害鳥獣対策を実施することにより、農業生産や地域住民生活の安定につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 有害鳥獣対策は、対象が広範囲であること、技術面、安全面等から市が関与すべきである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 人身被害防止、農作物被害防止のための事業であり、対象は現状が妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 人身被害防止、農作物被害防止のための事業であり、意図を絞ったり拡大するものではない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 有害鳥獣対策は、現行体制で最大限の成果をあげている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 有害鳥獣による農作物被害や人身被害の増加が懸念される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 猟友会への委託業務については、業務内容に対して事業費はむしろ不足している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状で最小限の人員で行っている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 鳥獣を原因とする広範囲にわたる被害防止対策である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 鳥獣を原因とする広範囲にわたる被害防止対策であることから、費用負担等はない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 特になし ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし
---------------------	---

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) カラス、鴨、熊などの有害鳥獣の農作物被害が毎年発生している現状及び人身被害への未然防止の観点からも、継続実施する必要がある。
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </div>	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 カラス、鴨、熊などの有害鳥獣の農作物被害が毎年発生している現状から、被害農家を中心に対策への強い要望がある。また、熊の出没も増加傾向にあり人命に関わることから、対策事業は必要不可欠であり継続実施してまいりたい。		